

「The study of Driving Risk and Individual Variables for Elderly drivers
(略称 DRIVE study)」に参加されたみなさんへ

(1) 研究課題

MCI が運転能力に与える影響に関する追跡調査：神経認知課題の危険運転予測力の検証 (JSPS 科研費 若手研究 B 16K17331)

(2) 調査期間

- ・当初調査期間 2016 年 1 月 1 日（パイロット調査に参加された方については 2015 年 12 月 1 日から） - 2020 年 3 月 31 日
- ・追加実施の 10 年後追跡調査 2025 年 12 月 19 日 - 繼続中

(3) 対象

2016 年（パイロット調査に参加された方については 2015 年 12 月から） - 2019 年の間に名古屋大学にて当該研究に参加されたみなさん

(4) 研究機関名及び研究責任者氏名、研究課題の研究代表者氏名

研究機関 名古屋大学未来社会創造機構

調査責任者 名古屋大学未来社会創造機構 特任教授 青木 宏文

研究課題の研究代表者

大阪公立大学 准教授、名古屋大学未来社会創造機構 客員准教授 河野 直子

(5) ご連絡事項

上記の調査期間に、DRIVE study では、調査開始時点での会場調査ならびに参加 1.5 年後の追跡会場調査、および半年ごと、最大 3.5 年間の郵送追跡調査をおこなっています。こうした追跡調査のため、調査参加者のみなさんから、氏名や住所といった個人を識別するための情報を、研究に用いる情報とともに、お預かりしました。当初のお約束の通り、研究に用いるさまざまな情報（例 年齢や性別といった個人特性に関する情報やドライビングシミュレーターの成績情報）は個人を識別することに関する情報と切り離して匿名化（※）し、電子データとして保管してきました。また個人を識別することに関する電子データは、情報漏洩の対策を施した専用のハードディスクに保管し、限られた管理者のみがアクセスできる状態で、外部ネットワークから遮断した環境のもとで保管してきました。しかし技術革新が進む中、外部ネットワークから完全に遮断せずとも安全に管理ができるようになりました。そこで 2026 年 6 月以降、名古屋大学の十分にセキュリティの担保されたサーバ上に電子データを保存し、個人を識別するための情報ならびに研究に用いる情報のそれぞれについて、限られた管理者のみがリモートアクセスできる体制を構築することにいたします。

対象となる方が、引き続き、ご自身の情報を外部ネットワークから遮断した状態で管理することを希望される場合は、2026年5月末までに以下にご連絡ください。ご連絡によって参加者のみなさんに不利益が生じることはありません。ご連絡をいただかなかつた場合、ご了承いただいたものとして扱います。

名古屋大学未来社会創造機構 青木研究室

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学未来社会創造機構・青木 宏文研究室内（調査責任者：青木 宏文）

お電話での問い合わせ： 052-789-6020（平日 10:00-15:00）

メールでの問い合わせ： nkawano@omu.ac.jp（河野 直子宛）

※ 匿名化とは、情報の解析に先立って、氏名、生年月日などの個人情報を削除し、研究者にしかわからない符号を付けて、どなたの情報かわからないようにする手続きのこと指します

(6)問い合わせ先

DRIVE studyに関して、調査内容に関するご質問やわからないことがおありになる方は、以下の事務局までご連絡ください。

事務局

名古屋

名古屋大学未来社会創造機構 DRIVE study（ドライブスタディ）班 事務局

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学未来社会創造機構・青木研究室気付

電話 052-789-6020（平日 10:00-15:00）

本 部

大阪公立大学 DRIVE study（ドライブスタディ）班 事務局本部

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号

大阪公立大学・河野研究室気付

メールアドレス nkawano@omu.ac.jp（河野 直子）

電話 072-254-9173（平日火曜日・水曜日 12:30-13:00）